

ICU (Intensive Care Unit)

診療科	全診療科
病床数	10床
看護師数	看護師長1名、副看護師長4名、看護師39名

看護体制 2対1看護体制

主な疾患 診療科を問わず、さまざまな臓器不全を発症している生命の危機的状況に陥った患者を受け入れます。
【意識障害、昏睡、急性呼吸不全、慢性呼吸不全急性増悪、急性心不全(心筋梗塞を含む)、急性薬物中毒、ショック・急性循環不全、重篤な代謝疾患(肝不全・腎不全・重症糖尿病を含む)、救急蘇生後、多発外傷、広範囲熱傷、破傷風など】

治療・検査 持続モニタリング(血圧(観血・非観血)・心拍数・脈拍数・SpO₂・呼吸数・体温・心電図など)、呼吸の管理(酸素吸入、人工呼吸器管理、ECMOなど)、循環の管理(昇圧薬・強心薬の与薬、補助循環装置(PCPS、IABP、IMPELLA)、経日的な体重測定)、血液浄化療法、ドレナージ管理 X線撮影、血液ガス分析、超音波検査、脳波、頭蓋内圧モニタリング(ICP)

ICUでは重症な患者の観察・治療を24時間体制で行っています。

ICUの看護師は、患者の状態の観察、医療設備機器の作動確認、医師による診察・治療の介助、救急科医師、各診療科の医師、薬剤師、臨床工学技士、理学療法士など多職種との連携・調整、日常生活の支援、患者や家族の精神的ケアを行っています。さまざまな疾患の患者を担当し、急変対応や重症患者の全身管理を身につけています。

また病棟の性質に合わせた専門チームを多職種で結成し、活動を行っています。(PADチーム:痛み・不穏・せん妄、RRSチーム:Rapid Response System/院内迅速対応システム、小児救急看護チーム、褥瘡対策チーム)

看護の特徴

